

通級による指導について

大阪市立東中学校 SAR(通級指導教室) 担当 大井 俊徳

「通級による指導」が令和4年度より本校で受けられるようになりました。発達障がい等の影響で、学習や行動、対人関係、気持ちの安定等で困りごとを抱えている生徒が、その課題を克服したり軽くしたりする方法を学んでいます。

一人ひとりの課題に対して、その原因や解決方法を一緒に考えたり、必要な学習(「自立活動」という学習です。教科の学習ではありません)を行います。また、自分の得意なことに取り組んだりもします。

もし、みなさんが次のようなことで困っていたり、悩んでいるなら、「通級による指導」について担任の先生にぜひ相談してみてください。

課題の例

「人と関わること・話すこと」

- ・自分の気持ちを伝えるのが苦手
- ・人の気持ちを考えるのが苦手
- ・周りに合わせたり、その場の「空気を読む」のが苦手
- ・言葉が少ない、長文を話すことが苦手
- ・ある音が正しく発音できない、つまる
- ・場面、場所によって話せなくなる



「行動すること」

- ・じっとしているのが苦手
- ・集中が続かない
- ・整理整頓が苦手
- ・忘れ物が多い
- ・こだわりが強く、「自分のやり方」でないと気が済まない
- ・急な予定変更に対応するのが苦手



「学習に関すること」

- ・「話す」「聞く」はできるが、「文字の読み・書き」は苦手
- ・黒板の字を写すのに時間がかかる
- ・文字がマス目や罫線からはみ出してしまう
- ・行をとばして読んでしまったり、読み間違いが多い
- ・計算することが苦手
- ・図形がわかりにくい
- ・筋道を立てて考えるのが苦手
- ・作文や作品作りなどで、「自分の発想」が求められることは苦手



「気持ちに関すること」

- ・騒がしい場所が苦手
- ・不安が強いなどの心理的な理由で、ある特定の活動に参加できない
- ・新しいことに対してとても緊張する
- ・嫌なことが忘れられない
- ・相手から「どう思われているか」が気になって自分の気持ちを出せない



「運動・体のこと」

- ・体の動きがぎこちなく、体操やダンス、ボールを使った運動、リコーダーの演奏などが苦手
- ・黒板の字が見えにくい
- ・特定の音が聞こえにくい
- ・まぶしさや気温、においなどに敏感で、ストレスを感じやすい
- ・味に敏感で食べられないものが多い



- ・これ以外の課題についても「通級による指導」で解決に向けて取り組める場合があります。まずは担任の先生に相談してみよう。



活動内容

通級による指導の内容は通級する生徒一人ひとりと相談して決めます。次はその例です。

先生との会話

発音練習

行動の振り返り

自分に合った学習

ボードゲーム
クイズ・脳トレ

レクリエーション
スポーツ

イラスト・工作

読書や音楽鑑賞

ソーシャルスキル
トレーニング

大切なことは…?

自分を正しく
知る

自分を好き
になる

自分の将来
に夢を持つ

